

ルート	改正案	会議での主な意見	意見に対する対応案	ルート改正 反映有無
① オレンジ	「さわやかプラザ」バス停の移設	「さわやかプラザ」への乗り入れについて、サービスセンター機能が縮小される中で、現状では利用需要が計りかねるので、乗り入れる必要があるかは判断が難しい。 しかし、西枇杷島地区以外のサービスセンターにはバス停があるので、なるべく設置した方がよい。	コミュニティバス運行目的及び意識調査結果からみて、 <u>「西枇杷島保育園」バス停を「さわやかプラザ」バス停に移設する。</u>	○
② オレンジ	「城跡公園」及び「城並二丁目」バス停の廃止	「城跡公園」及び「城並二丁目」バス停の利用実績は少ない。 その理由として、西枇杷島地区の国道22号から北側の地域の方の主な行動範囲が清須市内ではなく名古屋市内であり、交通手段として名古屋市営バス等を利用しているからではないかと推測する。そのような利用ニーズを踏まえて、廃止するか否か判断する必要がある。	バス停利用実態からみて、「城跡公園」及び「城並二丁目」バス停の廃止を提案したが、今後の利用ニーズ等を踏まえて検討する必要があるため、 <u>両バス停を存置する。</u>	×
③ グリーン	7便からの折り返し	利用実態からみると、7便「ヨシヅヤ清洲店」以降に一定の降車利用があるので、7便を折り返すと、乗車・降車の両方がなくなる可能性がある。 従って、8便から「ヨシヅヤ清洲店」の折り返し運行でもよいと思う。	意見を踏まえて、 <u>8便から折り返し運行とする。</u>	○
④ サクラ	7便からの折り返し	グリーンルート同様、8便から「五条川リハビリテーション病院」の折り返し運行でもよいと思う。 しかしながら、大幅な運行時間の短縮にはつながらないので、あえて折り返し運行とする必要があるかは疑問。	意見を踏まえて、次のとおり <u>2案を提案。</u> <b>【案①】</b> 8便からの折り返し。 <b>【案②】</b> 1便を春日地区発とし、運行開始時刻についても午前8時台へと繰り上げる。	協議

ルート	改正案	会議での主な意見	意見に対する対応案	ルート改正 反映有無
⑤ サクラ	「清洲庁舎」バス停の廃止	バス停の廃止は、運行時間の短縮となるため賛成。 「清洲庁舎」バス停の利用が少ないのは、「ヨシヅヤ清洲店」の後に「清洲庁舎」に行っていることが要因であり、現在の清洲庁舎付近で、「ヨシヅヤ清洲店」の前に行く代替バス停を設置することができれば、そのバス停の利用は多くなると推測する。	意見を踏まえて、「清洲庁舎」 <u>バス停の移設に向けて、道路管理者との協議を進めていく。</u>  <b>【移設予定先】</b> 現行サクラルート上の市道西市場廻間線 (「清洲小学校西」⇔「ヨシヅヤ清洲店」間)	○
⑥ サクラ	「清洲総合福祉センター」バス停の廃止	サクラルート「清洲総合福祉センター」バス停を廃止すると困る方がいると思う。  オレンジ及びグリーンルート「清洲総合福祉センター」バス停は存置する上、サクラルートのバス停はほとんどオレンジ及びグリーンルートでカバーできるので廃止は賛成。  「清洲総合福祉センター」利用者は自家用車の利用が多いと思う。  利用実績は廃止の検討の際に参考になるが、実際に、「清洲総合福祉センター」を利用されている方にアンケート調査を実施して、廃止の可否を決定してもよいのではないか。	「清洲総合福祉センター」を管理する社会福祉協議会への聞き取り調査を行った結果、利用者の大半は自家用車を利用されているとのこと。  バス停利用実態からみて、 <u>サクラルート「清洲総合福祉センター」バス停を廃止する。</u>	○